

日本聖化協会が発足しました!

—多くの教団・団体等の加盟を心から期待します!—

事務局

去る三月十日(月)、日本聖化交友会(JHA)・全国評議員会が行われました。今回は特に、福音文書刊行会(EPA)が五十年の長きに亘る独自の活動に終止符を打ち、JHAの傘下に入る(統合)との意義深い議題があり、正式にそのことが決定した会合となりました。これを契機として、日本聖化交友会は「日本聖化協力会」と名称を新たにすることに決まりました(但し、「JHA」との呼び方は今後も踏襲します)。

日本聖化交友会の名については、EPAとの統合があっても続行すべきとの意見もありましたが、従来の「交友・運動」的要素に出版という事業的要素も加わったこと、また個人参加的要素と共に教団・諸団体単位の積極的参加の構成要素等を考慮して、「協力会」と名称変更しました。これによつて、日本聖化協力は従来の組織と共に出版部門を新たに加えることになり、心機一転、聖化宣証・拡大のために邁進することになります。

加盟は、継続加盟の地域別聖化交友会が十(従来は

九でしたが、この会合で「四国聖化交友会」が発足し、正式加盟が認められました。感謝!、それに現在の正式加盟教団・団体は十三です。今後更に加わって来られることを確信します。併せて当然ながら、統合に必要な規則も検討され、正式に「日本聖化協力会規則」が決められました(併せて出版部門に必要な「日本聖化協力会出版委員会細則」も決定されました)。

この会合をもつて新組織のスタートとなり、次のように役員が選出されました(任期は三年)。会長 黒木安信師、副会長 松沢力男師、竿代照夫師、地域担当役員 高橋養二師、工藤弘雄師、国重雅治師、出版担当役員 本間義信師、飯塚俊雄師、矢木良雄師。加えて、書記 甲斐慎一郎師、会計 世良田湧侍師、会計監査 錦織博義師、横山義孝師が夫々選出されました。

新たに衣替えした「日本聖化協力会」の働きを大いに期待すると共に、多くの加盟があることを待ち望みます。

四国聖化交友会の発足

インマヌエル徳島教会牧師
高島俊夫

四国聖化交友会発足に至る第段階は、「岡山聖化交友会・四国支部」からのスタートをしようとしたことからです。教友が備えられ、五名の発起人が起こされ、次の発会式の案内状を送るに至りました。

「主の御名を賛美致します(ヘブル二・十四)。「日本聖化交友会」が設立されて二十余年となります。全国を見渡しますと北海道、東北、関東、東海、関西、九州にと日本四島のうち三島に設立され、幸いな聖化集会・セミナーなどが開かれ、恵みに満ちた交わりが形成されています。しかし、残された二島の四国にはないといつことを非常に残念に、また四国の地に三十年遣わされていく伝道者として、主のご命令に申し訳なく思い、十年の長きにわたりお祈りして参りました。まず小さなグループを形成し、仮称「岡山聖化交友会・四国支部」として出立したいと導かれ、発会式を開催いたします。」

その発会式は昨年六月に行われましたが、終了後に今後の活動について話し合う中で、発会式講師の工藤中山聖化交友会会長から、人材もおられるから支部ではなく、四国聖化交友会

された二島の四国にはないにしてはという意見を頂きました。それにしたがって、昨年九月十七日に「四国支部祈祷会」が高松田村町教会で開かれ、熱心な祈りと討議の結果、①地域の交流的な面、②個人的参加、③四国四県の持ち回り、④規約の作成等々を決定し、「四国聖化交友会」の発足誕生を決めました。

この決定を、先日の「全国評議員会」に提出したところ、全員一致をもって承認され、心からの歓迎を受けました。感謝します。

総務だより

▼このたび新たに衣替えした「日本聖化協力会」の働きを大いに期待します。全国に聖化の拡大が図られるようお祈りします。(係)

JAPAN HOLINESS ASSOCIATION

聖化

2008.4.20

日本聖化交友会機関誌

No. 43



ホーリネスの継承を求めて

東海聖化交友会委員 関 昌宏
チャーチ・オブ・ゴッド春日井栄光キリスト教会牧師

後になって、あなたがたの子どもたちが、「これらの石はあなたがたにとってどういうものなのですか。」と聞いたならば、あなたがたは彼らに言わなければならぬ。「ヨルダン川の水は、主の契約の箱の前でせきとめられた。」ヨシユア四・6-7

昨年、東海聖化交友会は、創立二十周年を迎えることが許され、感謝の時を持つとともに、記念誌を発行させて頂きました。全国のきよきを求める先生方、兄弟姉妹方のお祈りに支えられて二十年の歴史を刻むことができたことに大きな感謝を覚えています。

私たちは毎年六月に日本人講師による聖会を、また一〇月は関東聖化大会等と連動して外国人講師による聖会を開催しています。この他二月に総会を持ちますが、その際に交友会の先生方によるライフワークの発題を通じて、学びと研鑽の時を持つ

ています。また東海聖化交友会は愛知、岐阜、三重に加えて静岡西部や石川にも会員の教会があり、守備範囲が大変に広いのが特徴です。そのため名古屋で開かれる聖会に出席が困難な教会も多いことから、年に一度は聖会のテープをお送りするよう努めています。さらに静岡県西部地区に遠州支部を持ち、独自の聖会が開催されています。

三月に入って、聖会の会場教会牧師であり、交友会でも様々な面で多くを担って来られた松原向(さき)先生が天に召されました。先生の葬儀において自分に死に、キリストに生きることで何程すばらしいことであるか、証しされてきましたが、同時にこの道を自ら受け継ぎ、次代に確実に継承していくにはどうしたらよいのかと考えさせられました。冒頭のみことばにあるように、主はイスラエルにヨルダン渡河を経験させ、

それを子どもたちに伝えさせようとしています。今日きよめ派の教会において熱い思いをもってきよめを求めているだろうか。選択可能なオプションのように捉えていないだろうか。さらに子どもたちにこの道を継承させようとしているだろうか。救われて受洗すれば良いことになっていないだろうか。交友会としても、この時代にホーリネス信仰を継承するため、様々な工夫の必要を覚えますが、何より今ひとたび私たち一人一人が、ホーリネスを真剣に求める。そして身近なところから継承されていくように求めることから始めていきたいと考えています。

〔尚、過日の総会で西田价宏師転任に伴って東海聖化交友会・会長は松浦剛師(日本イエス・キリスト教団・名古屋教会牧師)が就任されました。同師は3月の全国評議員会に出席されました。〕